

地方都市視察報告書

文教委員会

1 実施日 平成23年10月26日

2 視察地 長崎県 佐世保市

【市の概要】

(1)面積 426.47 平方キロメートル

(2)人口・世帯数（平成23年3月末現在）

人口 262,998 人

世帯数 118,336 世帯

(3)人口は25万人を超え、長崎市に次いで県下で2番目である。

（65歳以上人口比率25.3%は、超高齢社会（21%以上））

3 視察項目

プラネタリウムについて

4 視察参加者

【委員】

あざみ民栄委員長

中村しんいち副委員長

久保広介委員

ひやま真一委員

えのき秀隆委員

おのけん一郎委員

佐藤佳一委員

豊島あつし委員

吉住はるお委員

【随行】

議会事務局議事係

武藤 弘

佐藤 勇治

5 視察結果報告

(1)視察目的

最新式のプラネタリウムを見て、学ぶ

(2)視察内容

市総合教育センター館内を視察した。

また、プラネタリウムの概要説明を受け、実際に観覧した。

(3)考 察

新宿区のプラネタリウムは光学式であり、最新のデジタル式のプラネタリウム

がどういうものであるか分かり参考になった。

約 6500 万円の購入経費がかかっているが、最新式への更新は「市民会議」の提言に基づいており、科学に対する意欲の高い自治体であると感じた。

新宿区の子どもたちはプラネタリウムを楽しみにしている。子どもが理科に接するための設備、環境は重要である。

6 新宿区政への反映

当面は現在のプラネタリウムを使用し、プラネタリウムの PR を十分に行う。また、豊島区や渋谷区にも比較的新しいプラネタリウムがあり、そうした隣接区施設の利用も検討する必要がある。

将来、プラネタリウムの更新を考える場合は、費用対効果を考慮し、デジタル式も含めた検討を行う。また、その際、複数区による共同設置、運営も視野に入れて検討する。

7 主な質疑・応答

問 1 前のプラネタリウムの使用期間は何年間か。

答 1 昭和 48 年購入、約 36 年間使用した。

今年度中に、本総合教育センターに移転し、展示する予定。

問 2 市民外の学校等の方々の入館料はどのような扱いか。

答 2 幼稚園、小中学校、一般の方々がおいでになっている。

なお、予約受付であり、プラネタリウム観覧料を頂いている。

問 3 プラネタリウムの新規購入時の基準はどういうものか。

答 3 予算を指名したうえでのプロポーザル方式を行った。なお、最低基準額を設けた。2社の参加があり、選定委員会を開催し、決定した。

問 4 長崎県内でほかにプラネタリウムはあるか。また、新しい機械であるこのプラネタリウムを見に周辺市町村から来ることはないか。

答 4 県内 3カ所で、長崎市と大村市にある。

交通事情により来ることは少ない。例えば、大村市からだと、片道 2 時間、往復 4 時間かかるので。

問 5 学年に応じた番組構成とあり、内容や時間は要望に沿って変更可能とある。

幼稚園～小学低学年向け、小学高学年向け、中学向けとあるが、この番組以外にもあるのか。どのようなになっているのか。

答 5 基本の番組があり、それをベースに皆様からの要望を取り入れて、構成を変えている。例えば、季節の星座を長めに、と言った要望を入れて構成変更を行って

いる。

問 6 機器の購入価格はいくらか。

答 6 機器、用具一式で 5,296 万円、ドームが約 1,500 万円。
総工費 13 億 6,500 万円に含まれている。

問 7 これだけのお金をかけ、新しいプラネタリウムを購入する、科学を学ぼうとする意欲は何か特別にあったのか。

答 7 市民会議により、協議、検討された結果である。

問 8 維持費はどのくらいかかるのか。

答 8 年約 1,000 万円程度である。

8 その他

【共同視察者】

教育指導課長 工藤 勇一

教育支援課長 齊藤 正之